

# 第51回公正入札調査会議（契約の適正化小グループ）

## の議事概要について

標記の会議について、以下のとおり議事概要をお知らせします。

### 1. 開催日・場所

令和6年5月22日（水）

中央合同庁舎第2号館低層棟共用会議室3A及び3B

### 2. 出席委員

楠 茂樹 上智大学法科大学院・法学部教授

郷原 信郎 弁護士

堀田 昌英 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授

【敬称略（五十音順）】

### 3. 議事

- (1) 令和5年7月1日～令和5年12月31日に締結された随意契約及び一般競争契約の報告及び審議

国土交通本省等が令和5年7月から令和5年12月までに発注した物品・役務に係る契約の過程及び契約の内容（官庁営繕部所掌の工事の設計、工事監理及び工事に関する調査並びに航空局所掌のものを除く。）の報告を行い、計543件（随意契約318件、一般競争契約225件）のうち会議が抽出した10件に関して、入札及び契約の適正化に関する事項について審議を行った。

- (2) その他

・ 審査対象期間における契約状況の分析について説明した。

抽出案件一覧表(第51回(R6.5.22開催))

物品及び役務に係る随意契約

(期間 令和5年7月1日～令和5年12月31日)

番号	発注部局名	契約件名	区分 (物品・役務の別)	契約年月日	契約の相手方	契約金額 (税込み:円)	随意契約の種類				備考	
							①競争性のない 随意契約 ②企画競争 ③公募 ④その他	企画競争・公 募の場合の応 募者数	政府調達案件 は○を記載	公募実施後、 企画競争へ移 行したものは ○を記載		
26	大臣官房会計課(港湾局)	洋上風力発電の導入促進に向けた海域の利用に関する調査検討業務	役務	R5.7.11	(公社)日本港湾協会	55,099,000	②企画競争	1				
129	総合政策局	持続可能な暮らしと社会の実現に向けた人々の認識や国土交通分野の取組み等に関する調査分析業務	役務	R5.11.15	(一財)日本総合研究所	12,991,000	②企画競争	1				
135	国土政策局	令和5年度 スマートアイランド実証支援業務	役務	R5.7.12	JTB総合研究所・離島総合研究所共同事業体 代表団体 (株)JTB総合研究所	27,843,255	②企画競争	1				
226	道路局	令和5年度 「道の駅」第3ステージ推進方策等検討業務	役務	R5.7.24	令和5年度 「道の駅」第3ステージ推進方策等検討業務日本みら研究所・オリエンタルコンサルタンツ・全国道の駅連絡会共同提案体	39,963,000	②企画競争	1				
278	観光庁	観光産業の高付加価値観光サービスを提供する人材の育成に向けた留学支援事業	役務	R5.7.18	(株)JTB	49,990,400	②企画競争	1				

物品及び役務に係る一般競争契約

(期間 令和5年7月1日～令和5年12月31日)

番号	発注部局名	契約件名	区分 (物品・役務の別)	契約年月日	契約の相手方	契約金額 (税込み:円)	予定価格 (税込み:円)	落札率	入札参加者数	政府調達案件 は○を記載	備考
17	大臣官房会計課(技術調査課)	R5災害映像表示装置改修	物品	R5.10.3	日本無線(株)	48,400,000	48,565,000	99.66%	1	○	
61	大臣官房会計課(鉄道局)	鉄道分野の国際規格への対応に関する検討調査	役務	R5.10.17	(株)三菱総合研究所	22,000,000	22,479,631	97.87%	1		
105	大臣官房会計課(柏研修センター)	国土交通大学校柏研修センター 空調自動制御機器等各所修繕	役務	R5.12.21	(株)関東コーワ	12,540,000	13,200,000	95.00%	1		
205	物流・自動車局	令和5年度 自動車検査・整備情報システム機器等の更新に伴う設計・開発業務	役務	R5.12.14	日本電気(株)	1,012,000,000	1,026,194,400	98.62%	1	○	
39	大臣官房会計課(情報政策課)	地方運輸局等行政情報ネットワークシステムにおける不正接続防止装置の導入業務	役務	R5.8.18	富士テレコム(株)	8,800,000	50,928,372	17.28%	2	○	

## 4. 委員からの主な意見等

別紙のとおり

## 5. 参考資料

別添1：契約一覧総括表

別添2：契約一覧表

別添3：公正入札調査会議(契約の適正化小グループ)実施要領

## 1. 随意契約

主な質問・意見	回答
<p>【事案1】洋上風力発電の導入促進に向けた海域の利用に関する調査検討業務（港湾局海洋・環境課）</p> <p>・配点において何割以上は合格という整理はあるか。</p>	<p>・特に定めていない。極端に問題があるケースについては非特定としております。</p>
<p>【事案2】持続可能な暮らしと社会の実現に向けた人々の認識や国土交通分野の取組み等に関する調査分析業務（総合政策局政策課）</p> <p>・前回から請負業者が代わっているが、1者応札になっている事についてどう分析しているか。</p>	<p>・発注が10月、11月となるため、人的リソース、等が埋まってきている時期であるからかと。発注時期をなるべく早める事で改善できるのではと考えております。</p>
<p>【事案3】令和5年度 スマートアイランド実証支援業務（国土政策局離島振興課）</p> <p>・応募要件で、情報保全に係る履行体制に関する同意はほかの業務であまり見ないが、応募要件になっている理由はなぜなのか。</p>	<p>・別に行う調査に対する伴走支援が業務内容の1つとなっており、他の情報を扱うため情報管理をしっかりと確認する仕組みを設定しております。</p>
<p>【事案4】令和5年度 「道の駅」第3ステージ推進方策等検討業務（道路局企画課）</p> <p>・共同提案体のうちの1者が、一般社団法人全国道の駅連絡会となっているが、どういう役割なのか。それ以外の者が取れる可能性が仕様上あり得ないのでは。</p>	<p>・業務の中に道の駅の設置者たる自治体側に意見を募ったり等、そういったところとのつなぎ役としての役割と考えております。しかしながら、調査物に関しても、この道の駅連絡会のネットワークを使わないと取れないものではなく、例えば、アンケート等をこの業務の中で提案するとしても、自治体に対して我々の発注業務として、地方整備局を通じて行っていくものであり、独立性という言葉が正しいか分かりませんが、担保されております。</p>

主な質問・意見	回答
<p>【事案5】観光産業の高付加価値な観光サービスを提供する人材の育成に向けた留学支援事業（観光庁観光産業課）</p> <p>・1者応募となった原因として、企画競争提案書を作成し郵送したのに、到着が間に合わなかったとあるが、通常であれば到着する時期に発送したのに、何か特別の事情があって到着が遅れたのか。</p>	<p>・恐らくですが、公示の締切日を勘違い、または消印有効と勘違いしたことが原因であり、特別の事情があったわけではないと考えております。</p>

## 2. 一般競争

主な質問・意見	回答
<p>【事案6】R5災害映像表示装置改修（大臣官房技術調査課電気通信室）</p> <p>・この装置を設置したのは、どの業者なのですか。  ・設置業者が改修というのが一番分かりやすいので、ほかが入りにくいのかなというふうなイメージを持つため、ほかの業者がためらうものではないか。</p>	<p>・今回の落札業者となります。  ・この設備は、もともとは別のメーカーのものが設置していたものを、あるときにこの業者が落札したものですので、この建物ができてからずっとという状況ではないところから、発注の内容に応じて応札意欲が湧くものに関しては、競争が起きると考えております。</p>
<p>【事案7】鉄道分野の国際規格への対応に関する検討調査（鉄道局 技術企画課）</p> <p>・これは調査検討で、ソフト面に关わるものだと思うが、価格だけで判断できると判断した理由どうなのか。</p>	<p>・競争参加資格の設定に当たって、必要な業務実績を有していることを要件としているおり、要件に合致することをもって履行可能と判断しております</p>
<p>【事案8】国土交通大学校柏研修センター 空調自動制御機器等各所修繕（国土交通大学校柏研修セン</p>	

主な質問・意見	回答
<p>ター)</p> <p>・(一者応札の理由は) 時期が悪いという理解でよろしいか。</p>	<p>・3月くらいに一時期研修の無い期間があり、その時期に修繕する計画としていたところ、その時期が事業者にとって不都合であったとの理解です。なお、ほかに研修の無い時期もありますので発注時期については、今後も検討して参ります。</p>
<p>【事案9】令和5年度 自動車検査・整備情報システム機器等の更新に伴う設計・開発業務（物流・自動車局自動車整備課）</p> <p>・令和2年だけ違う業者が落札しているが、ここは競争相手になるのか。今回のケースはそう想定でしていたか。</p>	<p>・システム開発そのものは難しいが、機能強化であれば競争相手にはなり得るが、今回は応札をしなかったといと考えております。</p>
<p>【事案10】地方運輸局等行政情報ネットワークシステムにおける不正接続防止装置の導入業務（総合政策局行政情報化推進課）</p> <p>・非常に低い落札率ですが、2者入ってきて、予定価格との比較において両者とも低く、さらに1者は異常に低いという結果となっているが、この辺はどのように分析されますか。</p>	<p>・事前に見積りを取っていない事業者が落札したため、入札結果については想像がつかなかったところ。しかし、事前に資料の閲覧をこの事業者は1日ばかりでおこなってございました。また、契約までの間に低入札価格調査を行い、この金額で入札した理由等をしっかり確認した上で、契約に至っております。</p>